

日野小学校だより

令和5年度
須坂市立日野小学校
R5.9.4
No.6

2学期 「考える」「伝える」「分かり合う」

始業式 校長先生のお話から

みなさん、おはようございます。

一学期の終業式に、「今日みなさんに会えるのを楽しみにしています」と話したのを覚えていますか？
まだまだ暑い日が続いていますが、今日みなさんと久しぶりに会えて、本当にうれしいです。

さて、今日から2学期が始まります。この2学期は、一年間の学校生活の中で暑い夏から寒い冬まで続く一番長い学期です。

そんな2学期の始まりにあたって、みなさんに心がけてほしいことをお話します。

一つ目は「**考える**」ということです。まずは自分が学校生活で楽しく過ごすことができるようにするためにはどうすればいいのか、そして、たくさんの友だちや先生方、地域の方々と過ごす上で、みんなが楽しく過ごすことができるようにするためにはどうすればいいのか、他にも自分のためやみんなのためになる行動について考えましょう。

そして、二つ目は自分の考えを「**伝える**」ということです。自分のため、みんなのために考えたことを周りの人にお話ししたり、実際に行動したりして、周りの人に伝える努力をしましょう。

三つ目は「**分かり合う**」ということです。みなさん一人一人が自分のため、みんなのために一生懸命考えたことを語り合っ、「なるほど、そんな考えもあるよね」と「分かり合う」ことは、たくさんの人たちと一緒に過ごしていく中でとても大切なことです。

まだまだ暑い日が続きます。熱中症やコロナウイルス感染症などにも注意しましょう。また、交通事故も増えていますので、右側を歩く、一時停止、ヘルメットの着用など、交通安全にも注意しながら、長い2学期をみんなで楽しく安全に過ごしましょうね。

～ 熱中症予防、感染症対策をお願いします ～

連日、暑い日が続いています。温度計を確認すると場所によってですが、35度以上の猛暑日の暑さです。日野小では、体育館や校庭で温度や湿度を測定し、熱中症の危険度を表す指数が31以上の「危険」になっている場合は、体育館や校庭での遊びをしないように呼びかけ、熱中症予防に努めています。こまめな休憩や喉が渇く前に水分補給をすること、マスクをしている場合は、適宜はずして熱中症の予防をするなど**考えて**行動できるよう学校でも指導をしていますが、ご家庭でも呼びかけていただければと思います。



また、新型コロナウイルスの感染状況ですが、お盆過ぎあたりから、定点医療機関からの患者届出数が5類移行後、最大となり9週連続で増加しました。長野県から医療警報も発出中です。先日オクレンジャーでもお知らせしましたが、各ご家庭でも改めて以下の点について感染対策へのご協力をよろしく願います。

- 1, 登校前にお子様の健康状態を確認していただき、発熱や咽頭痛、咳などの普段と異なる症状がある場合は、登校を控えてください。その他体調不良のある場合も無理をさせず登校を控えてください。
- 2, 感染症の診断が出た場合は、学校へ連絡をお願いします。

防災の日

9月1日(金)は「防災の日」で、今年は関東大震災から100年の節目にあたります。本校でも、この日に合わせて避難訓練を実施しました。

①第2回避難訓練(全校)

通常の避難訓練では、決められた避難経路を通して校庭へ避難する訓練を行うことが多いのですが、南海トラフ地震のように概ね100~150年間隔で繰り返し発生して切迫性が高まってきている大きな地震が起こったときにどのような危険があり、どう避難すればよいかを各教室で考える訓練を行いました。



まず、大きな地震が起きたときの状況を共有するために動画を見ました。非常ベルで机の下にもぐる訓練では、大きな揺れの時は、机がガタガタ動いてしまうので、机の下にもぐる時は、左の写真のように机の脚を両手でしっかりつかむことを確認していたクラスもありました。

次に、スライドを見ながら、どのような危険があるか、どのように避難すればよいかなどを考えました。

例えば、教室で掃除をしているとき、休み時間にトイレに行ったり、体育館で遊んでいたりと、給食当番でお汁を運んでいたときなど様々な状況が考えられます。そして、けがをしたり、気分が悪くなって歩けなくなったお友達がいたときどうするかなどです。今回の訓練を通して、休み時間等に地震が発生したことを想定した訓練も今後予定されています。この授業が生かせるように普段から防災への意識を高めていきましょう。



こわれたガラスで足を切っちゃった

足をガラスで切ってしまったお友達が、ろうかですくまっています。

血がいっぱい出ています。

あなたはどうしますか？



左の絵はこわれたガラスで足を切ってしまった子がいたとき、どう対応するか考えるものです。

先生から「血が出ていて助けてあげたい気持ちは分かりますが、他の人がさわってはいけません。」と教わると、驚いている子もいました。

5、6年生になると体育の保健の授業で応急措置の学習をしますが、ハンカチなど使って止血をするなど、その知識を実践に生かしていくことができます。訓練を通して、実践に生かすことができる力を養っていきたくて考えています。

②SBC「ろくちゃん防災・減災啓発下敷き」について

SBC信越放送さんより地震、災害の被害から子どもたちを守るために、防災・減災について分かりやすく伝える内容を掲載した「ろくちゃん防災・減災下敷き」を、県内全ての小学1年生に寄贈していただきました。本校でも9月1日の「防災の日」に配布しました。

③9月9日(土)災害時児童引き渡し訓練について

①ご都合で保護者の方が引き渡し訓練に参加できない場合

4月に学校へ提出していただいている「緊急連絡先カード」の「緊急時児童引き渡し時お迎えに来る方」に記載されている方に参加していただくことになります。もし、このカードに記載されている以外の方が学校に来られる場合は、事前に必ず担任へご連絡ください。

②帰宅完了報告について

無事に帰宅できましたら、訓練当日に流すオクレンジャーの帰宅完了報告で、必ずご報告ください。また、ご家族で振り返り、緊急時の対応をお子様と確認し、感想をオクレンジャーへ入力してください。